



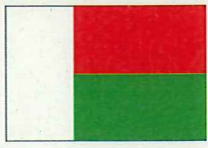
# Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?  
何か良いことあった？

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第8号 (2018/6/15) 福長 輝倅

## 今回のテーマ：マダガスカルの**職業** 僕の町には、こんなおもしろい人がおる。

福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)	マダガスカルってどんなところ？
隊次：2017年度2次隊 活動国：マダガスカル 赴任地：アンズズルベ (首都から約3時間) 職種：コミュニティ開発 前職：教師(非常勤/社会科) 出身：岡山県・岡山市	公用語：マダガスカル語・フランス語 人口：約2500万人(日本の6分の1ほど) 国土：587,000km <sup>2</sup> (日本より大きい！) 首都：アンタナナリボ 宗教：キリスト教及び伝統宗教、 少数派イスラム教 民族：約18部族



### ① 日本にもある職業編 - 違いは何だろう -

私が暮らしているアンズズルベという田舎町には、おもしろい人が働く素敵な職業があります。



**手紙を送りにくい郵便局**：この郵便局は少し不思議。週に一度しか首都から手紙が来ないのに、その日に休む。さらに、ほしい切手がない時は高い切手を買わされる。手紙を送るのも一苦労。



**寄り道バス**：多くのマダガスカルの町ではこのようなバスで移動します。ただし、友達の下りドライバーに出会えばストップ。電話がかかってくればストップ。何かを買いたくなったらストップ。早く到着できるからドライバー次第！



**白衣は写真用の歯医者さん**：これはマダガスカルの歯医者さんです。助手の女性はちゃんと服を着替えています。先生は家から来た格好でお仕事。しかし、写真を撮るときは白衣にチェンジ。オシャレかな？



**高速自転車製造所**：マダガスカルでは自転車が貴重。そのため、ある人たちが自作で自転車を作っています。それがこの自転車修理屋のおじちゃんたち。めっちゃめっちゃ速い自転車を作れます。日本人には乗るのは難しい。



**味が安定しないおやつ屋さん**：これは私の隣の家の素敵なおやつ屋さん。毎朝家族で「ムフボール」というおやつをたくさん作ってます。しかし、日によって味がかなり違う。だから毎日が楽しみ。



**夕方にはお肉がカッピカピ**：マダガスカルのお肉屋さん基本的には外にお肉をつけています。朝はお肉がいい感じ。昼はまあまあいい感じ。夕方にはお肉がカッピカピ。けど、大丈夫。料理すれば分からない。

② マダガスカルの特殊な職業編 - なんだこの職業は-

次は、私の町のちょっと変わった職業をご紹介します。



**荷物運びのママ**：彼のあだ名は「ママ（酔っ払いという意味）彼は、バスの上の荷物をいろんな所へ運びます。だが、バスが来ないとやることはない。だからお酒を飲んでしまう。彼は力持ちののんびり屋。



**私の家の門を勝手に開く男**：私の家の門は突然勝手に開くようになりました。それは彼のおかげ。なぜ彼はそんなことをしてくれるのか。それは、私の家の門にもたれて座っていたから。皆も門を借して、門を開いてもらう。



**セイント・ピバルチャ（聖なる店員）**：なんと、聖書が市場で売られています。それくらいキリスト教が生活になじんでいます。勉強のために、一つ買って教会に行つて見るのもマダガスカルの楽しみ方かも。



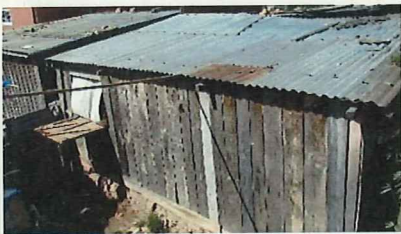
**国旗売りの男子**：マッチではなく、国旗を必死に売る男子たち。6月26日にマダガスカルの独立記念日があるからです。その日に近くなると、家に国旗を掲げることがマダガスカルの文化。



**すごいお米屋さん**：多くの場合、農家がお米を作つて、お米屋さんが売ります。その中でも、この二人のお米屋さんはすごい。自分のお米を売るために、隣のお米屋さんの邪魔を時々します。こんなお米屋さんが面白くて好きです。



**時々シュワシュワヨーグルトおばちゃん**：マダガスカルには行商がたくさんいます。彼女は、手作りのヨーグルトを売っています。いつも美味しい、けれどときどきシュワシュワする不思議なヨーグルト。味は運次第。



**マダガスカルのお酒はひっそりと**：この家では、トカ・ガシ（マダガスカルのお酒）が売られています。伝統的なお酒ですが、いろんな事情でひっそりと売られています。飲むときも、ひっそりと。



**写真とコピーで大儲け**：日本でコピーや写真の印刷はコンビニで。マダガスカルでは印刷屋へ。家にプリンターなどはないので、みんなが使って大儲け。ただし、マダガスカルでは印刷機械がない時は大切な書類も手書き。



**もみがら山を作る精米屋さん**：マダガスカルの主食のお米、収穫したらもみ殻をとるためにたくさんの人が精米します。精米さんの後ろのかけこは、精米した後のもみがら山がこんもりと出来上がります。

③ カキはどこでもカキ - 日本との意外なつながり -



この左の写真の食べ物は何でしょう。これは日本語で「カキ」です。フランス語で「カキ」です。英語で「カキ」です。マダガスカル語で「カキ」です。なんと、日本の秋のおなじみ「柿」がこんな遠いマダガスカルでも通じるのです！おそらく、英語やフランス語からマダガスカルに入ってきたんだと思います。

是非マダガスカルに来たら、こう言ってみよう！「ンバウメウ カキ（カキをください）」